

寝屋川図書館企画展示

本の  
まくら  
福袋

2015.12 --- 2016.1



# まずは、 本のまくらって何？

文章の書き出し部分。

つまり本の冒頭(枕ことば)のことです。

有名な枕ことばといえば…

吾輩は猫である/夏目漱石著「**吾輩は猫である。名前はまだない。**」

雪国/川端康成著「**国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。**」

など。

**本のまくら福袋**では、  
**タイトルや著者名を伏せて“まくら”のみを展示中。**

**まくらを読んで気になる本を借ってみよう！**

**普段は読まない新しいジャンルの本に出会えるかも♪**

**展示しているまくらを  
一部ご紹介★**



世界から言葉が  
消えていく

「あんたはきっと、  
来年は忙しくなる」

理工系の学部の一年生相手の授業で、「自然数は0から始まる」と言うと、「どうして0は自然数なのですか」という質問を受けたことがある。

むちゃあー！

京都吉田界限にて、  
一部関係者のみに  
勇名を馳せる  
孤高の学生がいた。

「話してもわからない」  
ということを大学で  
痛感した例があります。

もっと早くに決心することも  
できたはずだし、

周りの人間に男らしく決意のほどを軽く言い放ってもよかったはずだ。

頭にきたら、  
銭湯に行っていらん。

事のおこりは、

ウェスト・ヴァージニア州の、

小さな村アロヨから半マイルほど

はずれた二本の道の交差点で始まった。